

金魚関連グッズが高評価

老舗文具店 木阪賞文堂 リングノートが広島で奨励賞受賞

郷土民芸品「金魚ちようちん」に特化したオリジナル商品づくりを展開している柳井市の老舗文具店「有」木阪賞文堂(木阪泰之社長)の取り組みが、分野で評価されている。今回、2部門(プロダクト・パッケージ)に92社から131点(過去2番目の多さ)の応募があり、グランプリ2点、特準グランプリ2点、特別賞1点、奨励賞36点を選出。今回、初応募で初受賞となったこのノートについて、主催者側は

大内塗「珠」が県特産品振興奨励賞 300以上のアイテム、新たな商品も

「地元民芸品をモチーフにした大胆とても可愛いデザイン。ノートの種類が豊富なのも楽しい。地場産業のPRにも一役買っており、地域で愛される商品となっている」と評価している。このノートは、柳井金魚ちようちん祭りの20周年記念として、2011年春に商品化。当初、メモタイプからA6までの4サイズ(各5色の全16種類)を扱っていたが、現在はA4までの約50種類を販売。さらに、柳井織や柳井まつり、学校、企業などとコラボしたオリジナルノートも20種類以上がけ

ており、各方面で人気を博している。さらに県内の資源や技術を活かした特産品の振興を図るため、1982年度(昭和57年度)から行われている令和3年度山口県特産品振興奨励賞(昨年11月発表)で、国の伝統的工芸品「大内塗」の伝統技法で造作し、漆塗りで仕上げたオリジナル商品「金魚ちようちん「珠」大内塗」が受賞した。

このように様々な分野でオリジナル商品が評価される中、現在、文具や雑貨、アパレル、菓子など、300以上のアイテムを取りそろえる同社。昨年は、東京五輪・パラリンピック組織委員会から東京2020公式ライセンス商品「伝統工芸品コレクション」として、大会エンブレムと同じ藍色にした金魚ちようちん「金魚ちようちん(藍)」が選ばれ、国内外で話題に。

さらに今年は、JR西日本の長距離観光列車「ウエストエクスプレス銀河」(山陽コースは1月15日〜3月10日まで運行)の運行記念として、銀河をデザインしたオリジナルノートや消しゴムセット、キーホルダー、マグカップなどを制作し、柳井駅停車時に販売している。

1894年の創業以来、柳井中央店(市内中央3丁目)と白壁本店(白壁の町並み)で店舗展開する同社では、3〜4月にかけて、新たな金魚デザイン

同社オリジナルの人気商品「金魚ちようちんリングノート」が昨年秋、広島市と市産業振興センターが実施する「第17回ひろしまグッドデザイン賞」のプロダクト部門で奨励賞に輝いた。県内受賞は同社だけ。

販売促進やデザインにつながる産業振興を目的としたこの賞は、広島広域都市圏(広島山口両県の12市13町)に事業所を有する企業や事業者の商品またはパッケージで市販されているものを対象に、1994年度(平成6年度)から隔年で実施している。



野でオリジナル商品が評価される中、現在、文具や雑貨、アパレル、菓子など、300以上のアイテムを取りそろえる同社。昨年は、東京五輪・パラリンピック組織委員会から東京2020公式ライセンス商品「伝統工芸品コレクション」として、大会エンブレムと同じ藍色にした金魚ちようちん「金魚ちようちん(藍)」が選ばれ、国内外で話題に。

さらに今年は、JR西日本の長距離観光列車「ウエストエクス

上の措置額の増え、1億77円(9.8%)の見込む。歳出の重点的な事業として、活用した地域戦略では、引下や消しゴムセット、キーホルダー、マグカップなどを制作し、柳井駅停車時に販売している。

また、町の移住イートの開設や家庭総合支援拠点母子手帳の電子生までの医療費化などを進める新庁舎整備事業既存庁舎との併用や太陽光発電などを用意して月に全ての工事する予定。その舎の解体工事する予定。

このほか、4年新たにデジタルと環境政策室を設け、

【主な新規事業】
り捨て)
《産業・観光移